

秋まきのチャンピオン⇒ライグラス類

ライグラス類は、生育早く、作り易く、田畑の裏作に容易に栽培され、極めて多収ないね科牧草で、とくに我国のような集約的栽培には最も適した牧草といえましょう。他牧草との混播にも極めて良く、寒地暖地を問わず、青刈、乾草、サイレージ、放繋牧にあらゆる利用に適し、秋まき牧草の主体となるものです。

短期で多収

■ イタリアンライグラス

秋まきとして、最も重要な1年生(暖地越年)のいね科牧草で、今では、全国各地で広く利用されています。生育が極めて早く、再生力旺盛で短期間に嗜好性の良い良質の青草を生産するので、水田裏作、田畑輪換に集約的に多肥栽培され、又放牧地や永年採草地の造成に当っては、初期収量を補うためにも、他の牧草類に混播されています。田畑裏作の場合もえんばく、ライ麦、ベッチ、レンゲなどとの混播によって、量質共に優れた青草が生産され、又、その根を鋤込めば土壤に多量の有機質を与え、土地を肥やすこともできます。



新品種

■ オオバヒカリ

農林省畜産試験場で選抜育成したイタリアンライグラスの新しい品種の1つで、普通種のイタリアンライグラスに比べて、その特徴は、①幼苗のときから茎が太く葉も大きく、葉巾も広い、②分けつはやや少ないが、草丈高く、出穂時には1メートルを越すほどに高くなることがある。

又、この品種は、生育初期の伸びは早いけれども、節間伸び始めるのは比較的小さく、このため、関東地方では春まきしても殆ど出穂しない。したがって、茎葉の品質も長期間よい状態に保たれる。再生力が強いので刈り取り回数も多くなり収量も多い。とくに夏、涼しい地域では夏を越し、秋まで利用できる。耐寒性が強く、冠銹病、葉腐病にやや弱い、雪腐病、斑点病にやや強い。今秋よりいよいよ発売開始、ご試作下さい。

放繫牧地用の大型多収品種

■ マンモスペレニアル

ペレニアルライグラスよりも草丈やや高く、葉や茎が巨大で、収量は3～5割増収という優れた特性をもった新品种です。強健種で、他牧草との混播にも良く、増収されます。採草地の下繁草や、集約的な放繫牧地用に利用してほしい多収量です。栽培利用は、ペレニアルライグラスに準じます。

放繫牧地用

■ ペレニアルライグラス

草丈は低いが、イタリアンライグラスによく似た多年生のいね科牧草で、再生力非常に早く、家畜のじゅうりんにも耐える全く理想的な放繫牧草です。

普通、他の放繫牧草と混播利用（6頁参照）しますが、集約的なラデノクロバーとの混播によく、混播によって、収量の増加と乳牛の過食による鼓脹病の防止に役立ちます。又一般採草地の下繁草として他牧草との混播も広く利用されています。寒には強いが、暖地の暑熱や早ばつにはあまり強くなく生育が衰えますが、早春と晩秋の生育は極めて良い。

短期輪作草地に！

■ H・ワンライグラス（別名 ショートローティションライグラス）

牧草の王国ニュージーランドで育成された2～3年生のライグラスで、イタリアンライグラスとペレニアルライグラスとの長所を備えた交配種です。

短期輪作（2～3年）の主要牧草として利用していただきたい品種で、殆どの所に生育します。灌漑栽培のできる所では、予想以上の繁茂を示し、威力を発揮いたします。草地造成の混播にも広く利用されております。

秋まきイタリアンライグラスの栽培要点

● 播種期

北海道、東北地方北部…春まきが普通（4月上旬～5月上旬）（一部、夏作の麦類、大豆、かぶ、デントコーンなどの収かく1カ月前に中播され、作物収かく後、採草、放牧用に利用）

温暖地……………9月上旬～10月下旬
（東北地方中部以南含み）

（関東地方では8月下旬から播き、年内1回刈取ることもでき、西南暖地では、12月まで播くこともできます。東北の山形県、岩手県以南の平地では秋まきでも充分収かくできます。）

● 播種量……………単播……………2～3キロ（10アール当り）
混播……………0.5～1.0キロ

● 播種方法……………散播又は畦巾50～60^{cm}の条播

水田裏作…………… 稲刈取後耕起整地して、散播又は条播。排水不良田では高畦として広中に条播します。

・ 水稲の立毛中に播種する場合は、落水後5～10日目頃に撒播し、できれば足で踏みつけておく。稲の立毛期間は20日を限度とします。

畑地…………… 耕起、施肥して播種し、覆土はうすく、よく鎮圧する。麦類や他牧草との混播が有利であります。

翌年の盛夏時をさけるため、6月中旬に鋤込み、跡作として夏作のスーダングラス、ソルゴー、デントコーンを作付し、8月まで利用し、それ以降にかぶを播く方法もあります。

（混播例）

{	イタリアンライグラス	1.0 ^{kg}	{	イタリアンライグラス	1.0
	えんばく（又はライ麦）	4～5		クリムソクローバー	1.0
{	イタリアンライグラス	1.0			（又はパーシーム）
	ベツチ	6.0			
{	イタリアンライグラス	1.0			（混播牧草にイタリアンを加える
	赤クローバー	1.0			ときはイタリアンの種子量を10アール当り0.5 ^{kg} 以内とした方がよい。）

● 施肥量…………… イタリアンライグラスは多肥によって著しく増収されます。とくに窒素肥料の増肥や春先の牛尿の追肥は効果が大きい。

施肥基準（10アール当り）

元肥…硫安20^{kg}、過石30^{kg}、塩加10^{kg}。

追肥…窒素40～60^{kg}を春に2～3回に分肥

（堆厩肥、牛尿の施肥はできるだけ行う）